



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年9月19日

第63号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

「なりたい自分」を探すために…中学校区部活動体験 ～5つの中学校区が夏休みに実施しました！～

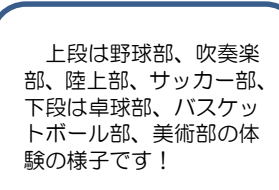
小学校の子どもたちが、進学後の中学校生活で楽しみにしていることの1つに部活動があります。部活動は、学年の違う生徒が集まり、スポーツや文化活動等を共に行うことによって、様々な学びや成長を経験することができる場です。

江別市の中学校では、小中一貫教育の重要な取組の1つとして、小学6年生対象の部活動体験を実施しています。今回の夏休みには、5つの中学校区で部活動体験が行われ、たくさんの小学生が参加しました。

具体的な実施方法も年々工夫されており、複数の部活動を体験できるように実施日数を増やしたり、部活動によって時間帯を分けたりしている中学校区がありました。また、体験メニューを中学生が考えたり、生徒会が受付や引率をしたりする等、生徒の主体的な取組となるようにしている中学校区もありました。一人一人の出欠を確認する、暑さ指数を考慮し活動時期・内容を考える等、児童生徒の安全確保にも留意されていました。

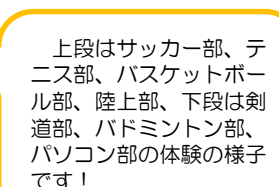
部活動体験は、部活動への意欲を高める他、小学生と中学生、複数の小学校の子どもたち同士の交流が図られ、自己肯定感・自己有用感や思いやりの心の醸成にも寄与する取組にもなっています。

①野幌中学校区



上段は野球部、吹奏楽部、陸上部、サッカー部、下段は卓球部、バスケットボール部、美術部の体験の様子です！

②大麻中学校区



上段はサッカー部、テニス部、バスケットボール部、陸上部、下段は剣道部、バドミントン部、パソコン部の体験の様子です！

③大麻東中学校区



上段は吹奏楽部、野球部、テニス部、バレーボール部、下段は美術部、バドミントン部、バスケットボール部の体験の様子です！

④第二中学校区



上段はバドミントン部、吹奏楽部、バレーボール部、美術部、下段は男女のバスケットボール部、サッカー部の体験の様子です！

⑤第三中学校区



上段は生徒会の受付・引率、卓球部、美術部、マンドリン部、下段はバドミントン部、バスケットボール部、パソコン部の体験の様子です！

特別支援学級における小学生と中学生の交流 ～大麻中学校区 ふれあい合同レク～

大麻中学校区（大麻小、大麻西小、文京台小、大麻中）のよつば学級、ひまわり学級、かがやき学級、あけぼの学級の子どもたちによる「合同ふれあいレク」が行われました。中学生が司会進行を務め、各学校が担当して「自己紹介」「ボール＆風船遊びリレー」「みんなで大きなオセロゲーム」「クイズ大会」の内容のレクリエーションを行い、みんなで楽しい時間を過ごしました。



4つの学校でチームをつくり、対抗戦をしました！



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年9月19日

第64号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

中学生が先生役！夏休み中の小学生学習支援！

～第二中学校区、第三中学校区、野幌中学校区、大麻東中学校区、江陽中学校区、中央中学校区～

各中学校区で中学生が小学校の夏休み学習会に参加し、小学生の学習を支援する取組が行われました。小中一貫教育の本格導入前から実施されている取組で、現在では、自分が小学生の時に教えてもらった経験がある中学生が支援する側になっている中学校区もあります。小学生にとっては、勉強がわかるだけでなく、中学生が身近な目標（モデル）となっています。また、中学生にとっては、自己肯定感や自己有用感が高まるとともに、キャリア教育としての効果も感じられる取組となっています。



第二中学校区の様子（第二小）



第三中学校区の様子（第一小）



野幌中学校区の様子（野幌若葉小）



大麻東中学校区の様子（大麻東小）



江陽中学校区の様子（江別太小）



中央中学校区の様子（対雁小）

小学生と中学生が一緒に楽しく体育の授業を受けました！

～大麻東中学校区 小中合同体力づくり～

中学1年生が出身校の小学校に出向き、小学4年生と一緒に体力づくりの合同学習を行う取組が8月29日（金）に大麻東中学校区で行われました。昨年度から取り組まれている実践で、「体力をバランスよく、より高い状態に保とうとする意識を育成する」「自分の体力を把握させる」「小・中学生の交流を図る」ことを目的に実施されています。当日は、小学校の先生が中心



大麻泉小での合同体力づくりの様子

となって指導を行い、中学校区で作成した動画を体育館壁面に大きく映し出し、先生や中学生が運動のポイントを説明しながら、様々な運動に取り組みました。小学生に優しく声をかけたり、励ましのハイタッチをしたりする中学生、中学生を目標にして一生懸命に体を動かす小学生の姿が体育館いっぱいに広がり、みんなで楽しく爽やかな一時を過ごしました。市教委予算を使ってバスを手配し、中学校と2つの小学校間のピストン運行を行い、移動時間を短縮して子どもたちの活動時間を十分確保するように工夫がされており、充実した内容になっています。授業の途中で、3月に子どもたちを卒業させた旧6年生の担任の先生が活動の様子を参観にくと、中学生から歓声があがり、笑顔がたくさん見られました。体力向上の他、体育科の授業改善、自己肯定感の高揚、中1ギャップの緩和等、たくさんの効果が感じられる実践となっています。



大麻東小での合同体力づくりの様子

いざという時のために…地域と一緒に防災教室！ ～野幌若葉小 CS・石狩教育局社会教育巡回訪問～

9月6日（土）に野幌若葉小で石狩教育局の社会教育巡回訪問が実施され、「防災学校」の視察やコミュニティ・スクール（CS）、地域と連携した教育活動等に関する説明・協議が行われました。

「防災学校」は、自衛隊や警察、ジョイフルエーカー、地域 NPO「赤鼻塾」、市役所危機対策・防災担当、地域自治会、学校運営委員の方々の協力により、発達段階に応じた防災教育が行われました。子どもたちは実物に触ったり、災害が起きたことを想定して避難したり、避難所運営を考えたり等、様々なメニューを通して体験的に学びました。

他にも、協議では今年度から始まった酪農学園大と連携した「学校菜園プロジェクト」や北海道情報大と連携した「プログラミング学習」の実践についても説明があり、大学が近くにあるという学校の特色を生かした教育活動の様子が紹介されました。

野幌若葉小 CS は、自治会役員さんや歯科医院長さん、近隣幼稚園の園長さん、民生・児童委員、PTA 役員の方々等が学校運営委員になっており、様々な立場・視点から学校運営等に対するご意見をいただいています。また、委員会当日は授業参観を設定し、実際に子どもたちの姿を観ていただいた上で意見交換を行う等、熟議の仕方を工夫しています。

CS での充実した熟議や、地域の人材、関係機関、民間企業、大学等と連携した地域学校協働活動を進めている野幌若葉小の取組については、石狩教育局からも高い評価をいただきました。



自衛隊や警察の方からパトカーや自衛隊車両、災害救助用具等について学ぶ



ジョイフルエーカーの方から防災グッズについて学ぶ



地域の NPO 法人「赤鼻塾」の方から避難の仕方について学ぶ



「自助」「共助」「公助」について学ぶ



自衛隊の方から災害への備えや救助の様子について学ぶ



市役所危機対策・防災担当の方を招き、地域自治会の方と一緒に避難所運営ゲームをする



学校と石狩教育局、市教委による協議